

日本福祉大学

山形最上オフィス通信

第18号 発行日：2016年2月29日

目次

- 1) 在学生インタビュー
- 2) 卒業生の声
- 2) 福島県地域同窓会総会
- 3) エッセイコンテスト
- 3) 就活支援プログラム開催
- 3) ここでも日福
- 4) 通信教育部 出願受付中

在学生インタビュー

合格者数全国1位の日福で社会福祉士を目指す
将来の目標は「福祉の力で復興支援」

Q. 日本福祉大学を選んだきっかけは何ですか？

A. NHKで放送されていた「サイレントプア」という番組を見て、社会福祉士になりたいと思うようになりました。

生まれも育ちも東北なのでほかの地域の文化にも触れてみたかったし、社会福祉士の国家試験の合格者数が全国トップクラスの日本福祉大学で学びたいと思い選びました。将来は、被災地の力になれるような社会福祉士になりたいです。

Q. 大学生活はいかがですか？

A. サークル、学校生活どちらも充実していてとても楽しいです！愛知、三重、岐阜の友だちの方言が強いので、東北の言葉があまり出なくなりました（笑）

Q. 現在どんな勉強をしていますか？

A. 今は、福祉の基礎や制度を学んでいます。

Q. サークルやアルバイトはしていますか？

A. サークルはハンドボール部に入部し、二部昇格を目指して頑張っています！この春からスポーツクラブでアルバイトも始めます。



▶ 大学生活、満喫中！

Q. 一人暮らしはいかがですか？

A. これまでは炊事洗濯など両親がしてくれましたが、大学から始めた一人暮らしでは周りのことをすべて自分でやらなければいけないのでやっぱり大変です。毎日悪戦苦闘しながらなんとか頑張っています。アパートでは、大家さんが4月に歓迎会をひらいてくれました。大家さんのお孫さんと遊ぶ機会もあり、楽しいですよ！

Q. 将来の夢や目標は何ですか？また、それに向けてどんなことを頑張りたいですか？

A. 福祉の力で被災地の復興支援に携わっていきたいです。大学卒業後は東北に戻り、岩手・宮城・福島のいずれかの県で活躍したいと思っています。そのために今は社会福祉の課題や政策などを学び、将来に向けて頑張ります。

Q. 大学進学を目指す高校生に向けてアドバイスやメッセージをお願いします。

A. 進路を決める際は、自分の意思を通してほしいです。先生や両親からは色々な意見をもらおうと思いますが、実際に大学で学ぶのは自分です。周りの意見に左右されず、自分の人生を後悔しないように自分の意思で選び決めた進路で頑張ってください。

社会福祉学部 社会福祉学科 1年

鈴木 拓也さん（秋田県・湯沢翔北高校出身）

皆さんこんにちは。1981年経済学部卒業の鈴木一成と申します。私が入学した年は、経済学部ができて2年目でしたが、杣中キャンパスの風景は今も鮮明に思い出することができます。

さて、入学式当日のサークル勧誘で「すぐレギュラーになれる！」という甘い誘い(?)に乗ってしまい、私は「ラグビー部」に入部しました。大学入学前までは、ずっと吹奏楽でパーカッションをやっていたので、体育会系のサークルに入ることは、ある意味、無謀とも言えるチャレンジでした。今振り返ってみると、心の奥で、名古屋という新たな土地での学生生活を送るにあたり、何かしら「自分を変えてみたい」と思っていたのだと思います。

厳しい(?)練習をしながら、2年生になるとチームは東海リーグの2部に加盟、そして初めての公式戦で初トライを決めることができました(ポジションはNo.8)。この時の経験は、35年近く経過した今もお、大学時代のよき思い出として心に残っています。

私の職場は、「社会福祉法人山形県社会福祉事業団」の事務局です。当法人は県立及び事務組合立指定管理施設10、自主経営施設4、サポートセンター7、グループホーム49か所を運営、職員数は1179人(平成27年4月)となっています。施設種別で言うと特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、障害者支援施設及び障害福祉サービス事業所、救護施設、障害児者相談支援事業所、障害者就業・生活支援センター、地域生活定着支援センター、福祉休養ホームなど、多岐に渡り幅広い分野で事業を展開しています。その他、高齢者関係研修(認知症介護実務者・開設者)や障害者関係研修(相談支援従事者・サービス管理責任者・行動



卒業生の声

学生のうちに多くの経験・体験を積み、目指すは「エキスパート」よりも「プロフェッショナル」

障害支援者)、そして障害者の虐待防止研修も山形県からの委託を受け開催しています。

私の業務は、事業全体の進行管理や新規事業の開拓を行うポジションになります。また、平成28年10月末に山形で開催される「やまがた技能五輪・アビリンピック2016」における障害者の選手発掘・育成事業の担当もしています。

座右の銘は、姜尚中さんの「人間の価値は態度でできる」ということばです。この言葉の意味は、人は人を評価する時に、どれだけ新しいことを創造したかとか、どんな素晴らしい体験をしたかということ問いがちだが、本当はそのようなことではない。人間の価値を決めるのは、困難な時ほど、周囲の人達にどういふ態度をとれるかだ、ということです。昨年、ラグビーワールドカップ南アフリカ戦で、日本が勝利した試合は、困難にぶつかる勇気の大切さを改めて教えてくれたような気がしています。

在学生の皆さんに伝えたいことがあります。それは、学生時代に多くの経験や体験を積むことです。それも、特定の分野に限定することなく…。様々な人との出会いは、信頼や強い絆となって皆さんにとって貴重な財産になります。これからの仕事に求められる人材は、コミュニケーション力があり、周囲の人と信頼を築くことができる人、そして様々なことに柔軟に対応できる人だと思います。まさに、「エキスパート」

でなく「プロフェッショナル」な人を目指してください。

最後になりますが、山形県社会福祉士会の副理事長もしています。山形県の福祉や就職に関する情報など必要な場合は、お気軽に連絡をください。待っています。

同窓会・同窓生

同窓会設立60周年記念 福島県地域同窓会

2月6日(土)、西郷村のスパリゾートあぶくまにて福島県地域同窓会総会と交流会が行われ、19名が参加しました。総会では2015年度事業報告、2016年度事業計画を確認し、収支予算・役員等を審議しました。総会後は、社会福祉学部社会福祉学科の木戸利秋教授を講師に迎え、「福祉労働者の減少を止めるには～教育、労働現場、福祉政策から考える」と題した講演会を行いました。交流会では、美味しい料理を味わいながら思い出話で盛り上がりを見せ、同窓生同士の仲を深める時間となりました。

第13回 高校生福祉文化賞エッセイコンテスト

高校生に福祉を見つめなおしてもらうことを願って、日本福祉大学と朝日新聞社が主催の「高校生福祉文化賞エッセイコンテスト」が2003年度から行われています。2015年度第13回では、歴代1位となる応募総数9,974点のうち東北から869点もの応募があり、4名の作品が入賞しました。また、学校賞3校のうち青森県立八戸北高校も選ばれました。

第63回福祉大学祭が行われた11月15日に、美浜キャンパスで授賞式が開催され、全国から入賞者とご家族や先生が集まりました。授賞式では審査経過と作品講評が述べられ、受賞者一人ひとりに二木学長より表彰状と副賞が手渡されました。入賞者と入賞校代表の先生からは、お一人ずつ喜びの声と応募作品への思いやエピソード等が紹介されました。

「人・家族とのふれあい」をテーマとした第1分野において、「最強のデート服」という作品で見事最優秀賞に輝いた青森県立三本木高校2年の山田奈桜さんと、学校賞に選ばれた八戸北高校へ伺いました。賞状と副賞をお渡しし、受賞された山田さんをはじめ校長先生や、応募にあたって指導された先生も大変喜ばれておりました。

受賞された皆さん、おめでとうございます。入賞作品は本学ホームページでご覧いただけます。また、冊子となった「入賞作品集」もございます。ご希望の方はオフィスまでお問合せください。

第一分野 人・家族とのふれあい 最優秀賞 「最強のデート服」 青森県立三本木高校 2年 山田 奈桜さん

第一分野 人・家族とのふれあい 審査員特別賞 「思い出の動画」 青森県立大湊高校 3年 柏 明莉さん

第二分野 わたしが暮らすまち 優秀賞 「私の町」 秋田県立由利高校 3年 齊藤 亜実さん

第四分野 社会のなかの「どうして？」 最優秀賞 「循環型社会をわたしの一票で！」

青森県立八戸西高校 2年 下館 夏純美さん

学 校 賞 青森県立八戸北高校



▲ 見事、最優秀賞を受賞した山田さん

就活支援プログラム開催

12月20日(日)に、美浜キャンパスにて在大学生を対象にした就職活動に関する講座やセミナーが行われ、約500名が参加しました。身だしなみ・マナー講座では、はるやま商事より講師をお招きし、スーツの着こなしや面接マナーを、女性はメイクアップについて学びました。



Uターン就職ガイダンスでは、マイナビの担当者よりUターン就職をする際に重要な情報収集のイロハについて、卒業生からは現在の仕事内容や就活で実行したことなど、具体的

な体験談を聞きました。

就活プランニングセミナーでは、卒業生や4年生の内定者、ブロックセンターによる個別相談会を行いました。東北ブースには3年生を中心に学生がきてくれ、その中には「出身地ではないが、東北に就職したい」という学生も。皆さんの希望の進路へ向けてサポートしていきます。

ここでも目福

「社会福祉学」分野の 採択件数で全国1位に

文部科学省が2015年9月16日に発表した、平成27科学研究費助成事業(科研費)の配分状況等において、日本福祉大学の新規採択率は37.0%(全国平均26.5%)で、新規応募件数が50件以上の全国の研究機関のうち14位となりました。細目別採択件数上位10機関が公表され、昨年度に引き続き「社会福祉学」において、本学は1位(新規採択累計数40.5件、うち女性22.0)となりました。科研費は学術研究を発展させることを目的とした競争的研究資金で、独創的で先駆的な研究に助成を行うものです。

通信教育部 出願受付中！

1月30日（土）に仙台市の情報・産業プラザにて2016年度入学相談会を開催いたしました。通信教育を実施している大学が合同で実施し、大学別に個別相談形式で行いました。前日は大雪となり足元の悪い中、大変多くの方にご来場いただきました。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。「パンフレットを読んでわからなかった部分も良く分かりました。相談会に来てよかったです！」との声もいただきました。



通信教育部では、10代～80代の幅広い年齢層で、東北地域では約100名、全国各地では約7,000名の学生がともに学んでいます。社会福祉士・精神保健福祉士の合格者数が第1位という実績や、全国の通信制大学の平均14.1%を大きく上回る52.1%という卒業率の高さ、ライフスタイルに合わせて効率よく学習できるインターネットを活用した学習システム等が特徴の日本福祉大学通信教育部で学んでみませんか？

相談会以外でも、通信教育部事務室や山形最上オフィスでお問い合わせを受け付けています。オフィスにはテキスト科目やオンデマンド科目の講義資料もありますので、お気軽にお越しください。

現在、2016年度入学生の出願受付中です。ご入学を希望される方は、出願手続要項をお取り寄せいただき、必要事項について充分ご確認の上、ご出願ください。皆さまのご出願をお待ちしております。

【 正科生 ・ 科目等履修生 ・ 特修生 】

第3期 2016年3月1日～2016年3月31日

【 科目等履修生 ・ 特修生 】

第4期 2016年4月1日～2016年8月31日

【 履修証明プログラム 】

c期 2016年3月1日～2016年3月31日

d期 2016年4月1日～2016年5月15日

e期 2016年5月16日～2016年8月31日

【 幼保特例対応プログラム 】

C期 2016年3月1日～2016年3月31日

D期 2016年4月1日～2016年4月30日

E期 2016年5月1日～2016年5月31日

F期 2016年6月1日～2016年6月30日

G期 2016年7月1日～2016年7月31日

H期 2016年8月1日～2016年8月31日

日本福祉大学 山形最上オフィス

〒999-6101 山形県最上郡最上町大字向町674 最上町立中央公民館内
 電話：0233-43-9232 メール：yamagatabc@ml.n-fukushi.ac.jp
 Open：火曜～土曜 10:00～18:00 (Close：日曜 月曜 祝日)